

“キャンピングカー”

概要

- ・ 新車のハイエースをキャンピングカーに仕立てる。
- ・ ベッドモード、リビングモードの切り替えが出来る構造とし、その他設備はオーナーが徐々に載せて行くため、搭載スペースのみを確保した構成としている。
- ・ 工程写真を殆ど撮っていないのが残念。

工作期間 50 日

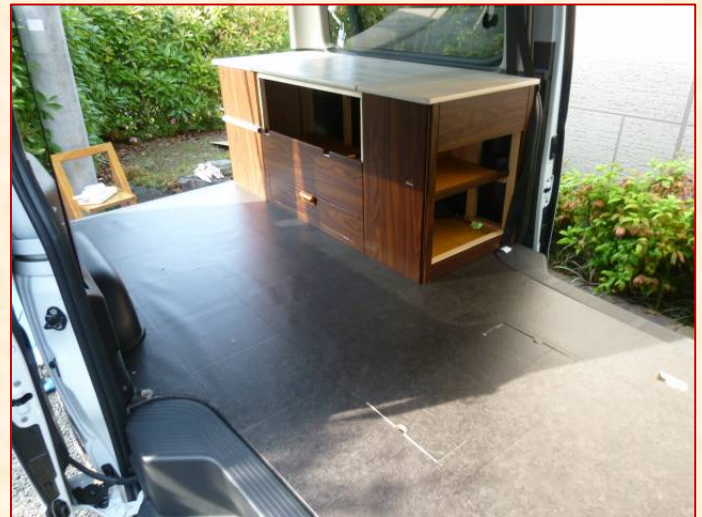
材料費 100,000 円
(塗料、粘着シート、雑材除く)



↑ フロアマットを剥がし、床面に根太を通し、12 t 合板を 3 枚並べ、車両形状に合わせカットしています。最前部の合板は、セカンドシートの固定穴をミスって作り直し。 後日、根太の間に断熱材を入れて固定します。



↑ ベッドフレームの構造、ベッドを倒した時の足は折りたたんで収納出来ます。(茶色の部分)
これ以外のフレーム状態の写真は全く残していない。



↑ 床面にクッションフロアを全面貼したところ。奥に見えるカウンターには「ソフトクローズ引き出し」と「靴入れ」「釣りざお収納」「クーラーボックス収納」などの機能を備えています。クーラーボックスは後ろ扉から引き出せます。



↑ ベッドモード時、後方からもアクセスできるように最後部ベッドは開閉式に、左側カウンターも後方からアクセスできるように扉にしています。 カウンターの上は子供ベッドになり、大人用のベッド部は 1950 mmとしています。





← ベッドモード

手前のベッドは折りたたみ式の拡張ベッド、4脚はネオジム磁石で床面に固定させます。

カウンターの引き出しを出して付属補助具を乗せると、カウンターベッドも長さを延長出来る構造となっています。



↑ リビングモード

カウンターにミニテーブルを掛けるとリビングモードに早変わり。大人 5～6 人でも楽に座れます。カウンターの天板を持ち上げれば、クーラーボックス（又は冷蔵庫）にアクセスできます。

メモ

- ・ハイエースをキャンピングカーにしている人たちの中で、自分たちの構想に一番近いのが「みんから」さんの情報だったので、いいとこ取りの真似をさせて頂きました。
- ・狭い所でこんな大物を手掛けるのは大変でしたが、毎日が楽しみな 2 か月弱で、振りかえってみると工程写真を撮っておけばよかったと反省しています。
- ・側面の断熱材施工は終わっていますが、天井はこれからの施工となります。
- ・取りあえずここまで作り込んでおけば、後はオーナーが工夫して改良していただけることでしょう。